

製品名: CD13 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01462**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.16mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 110 kDa; Observed MW: 160 kDa

抗原情報

遺伝子名	ANPEP ANPEP; APN; CD13; PEPN; Aminopeptidase N; AP-N; hAPN; Alanyl aminopeptidase;
別名	Aminopeptidase M; AP-M; Microsomal aminopeptidase; Myeloid plasma membrane glycoprotein CD13; gp150; CD antigen CD13
遺伝子 ID	290
SwissProt ID	P15144
免疫原	ヒト CD13 の合成ペプチド

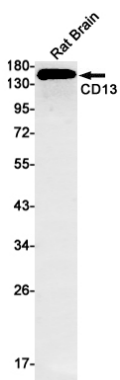
背景

アミノペプチダーゼ N (APN、CD13) は、広く発現している膜結合型タンパク質分解酵素であり、消化中にペプチドを分解し、抗原提示中に細胞表面抗原を切断し、いくつかのコロナウイルスを含むヒトウイルスの受容体として機能します。胃と膵臓のプロテアーゼによるタンパク質の加水分解から生成されたペプチドの最終的な消化に役割を果たします。

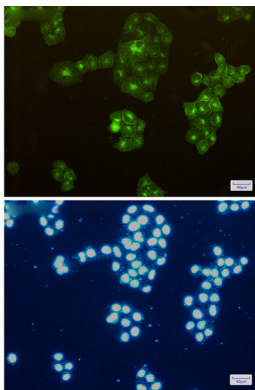
研究分野

免疫学

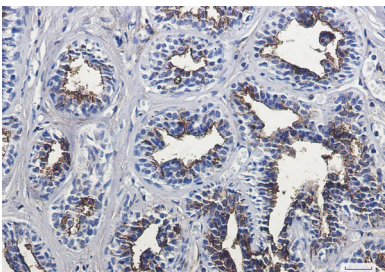
画像データ



CD13 抗体を使用したラット脳溶解物中の CD13 のウエスタンブロット分析。



CD13 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の CD13 (緑) の免疫細胞化学分析



CD13 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。